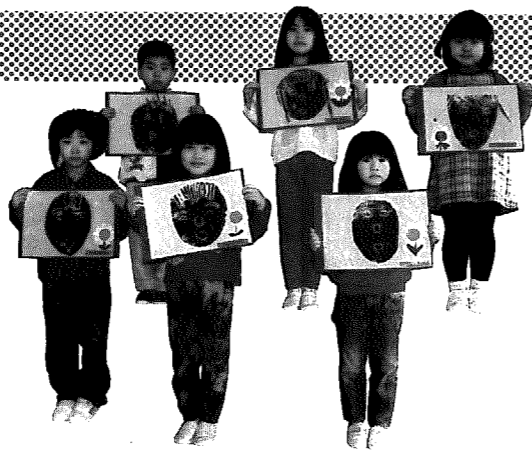




■このコーナーでは、皆さんからの情報を募集しています。地区内行事、ボランティア活動などなんでもOK。総務課企画係（☎82-4111内線207）までご連絡ください。
■この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係へご連絡ください。写真をさしあげます。

■和納保育園・五歳児



わたしの自信作

■写真上段左から：おおじりようま君、たなかちひろさん、いおかわみゆさん
■写真下段左から：もりやまみさん、えんどうあやかさん、いとうせりかさん

日頃の芸修行の成果を発表

—よりなれ岩室“春の舞”—

伝統ある岩室芸妓の名に恥じない芸の習得をめざして、岩室温泉の芸妓さんたちは日夜厳しい稽古に励んでいます。その芸妓さんたちからの「日頃の芸修行の成果を発表する場を…」という声で昨年からは始まった『よりなれ岩室・春の舞』がことしも先月2日に開催されました。会場となった ゆもとや には、村内外から約300人の観衆が集まり、「長唄・虫の合方ふき寄せ」を皮切りに次々と披露される唄・三味線そして踊りを、時の経つのも忘れて堪能していました。



■芸妓さんたちの華やかな舞



間瀬独特の“五人づき”
ふれあい、もちつき大会
二月上旬とは思えない春らしい日差しの中、先月六日に間瀬保育園で「ふれあいもちつき大会」が行われました。当日は、もち米が蒸けるまでの間、園児たちが歌や踊りを披露。タヌキも二匹(?)登場して、会場は楽しい雰囲気になりました。いよいよ園児のおばあちゃんや寿学級の皆さんが参加して、間瀬地域でしか見られない「五人づき」に挑戦。園児たちの「ベッタッコ、ベッタッコ」のかけ声に合わせて、慣れた手つきでリズムよくつきあげました。できあがったおもちちは、早速、あんこやきなこ・雑煮もちにして、みんなでおいしそうに食べていました。

もうすぐ1年生



もうすぐ春。夢と希望にふくらむ小学校の入学式まであとわずか…。ところで、この春、村内の2小学校に入学する新1年生は95名。そこで今月号では、一足早く新1年生になる子供たちをご紹介します。なお、今回ご紹介した名前は、平成9年1月30日現在のものです。その後の移動については掲載されていませんので、ご了承ください。(順不同・敬称略)

■岩室小学校

地区名	児童名	地区名	児童名
金池	上村 佳希	石瀬	上村 真央
岩室	齋藤 成宏	山田	山田 大地
橋本	本間 智香	堀越	堀越 未佳
久保	金子 祐太郎	後藤	後藤 真裕子
南谷	小池 真由美	鈴木	鈴木 智裕

地区名	男子	女子	計
夏井	稲垣 雄太	田中 裕樹	46名
西中	山崎 恵美	山岸 大祐	
西船越	杉山 司	山上 友理恵	
新高谷	大森 政貴	山田 千裕	
高畑	岡島 直人	本間 大地	
間瀬2区	桐林 祐大	中村 裕美	
間瀬6区	阿部 瑞季	中村 啓輔	
間瀬7区	山本 美咲	田中 拓美	

■和納小学校

地区名	男子	女子	計
和納1区	阿部 春花	五百川 美優	49名
和納2区	星野 利菜	竹内 千智	
和納3区	大治 龍馬	前山 千種	
和納4区	伊藤 早由	高島 歩陸	
和納5区	大塚 友香	遠藤 彩香	
和納6区	関根 智菜美	早川 愛美	
和納7区	大越 雄一郎	遠藤 雅菜美	
和納8区	小池 和也	堀川 梨花	
和納9区	山岸 祐馬	伊藤 芹香	
和納10区	森山 摩美	遠藤 雅菜美	
和納11区	平原 沙由理	堀川 梨花	
和納12区	山田 直樹	伊藤 芹香	
和納13区	坂爪 佑樹	堀川 梨花	
和納14区	半間 圭亮	伊藤 芹香	
和納15区	山添 未晴	伊藤 芹香	
和納16区	阿部 優佳	伊藤 芹香	
和納17区	田中 千尋	伊藤 芹香	
和納18区	武田 将典	伊藤 芹香	
和納19区	伊藤 将典	伊藤 芹香	
和納20区	伊藤 将典	伊藤 芹香	



「われ先に」と「福」を拾い...

17名の2級ホームヘルパーが誕生

岩室村生涯学習推進本部では、平成7年度に行った3級課程のホームヘルパー養成講座の修了者を対象に、平成8年度は同講座の2級課程を開設し、広くホームヘルパーとして必要な知識・技術を学んできました。先月21日には同講座の閉講式が行われ、2年間一生懸命学習してきた17名の方に修了証書が手渡されました。受講生からは「自分が老齢期に入る心構えにつながった」、「同じ地域に住む者同志の共感が強まった」、そして「学習してきたことを、ボランティア活動に生かしたい」などといった感想が聞かれました。



一人ひとりに修了証書が手渡され...

家内安全・無病息災を願います!

間瀬地区・海雲寺で「豆まき」
先月三日は「節分」でしたね。皆さんのご家庭でも豆まきを行ったのではないのでしょうか。ここ間瀬七区の海雲寺(高山憲一住職)でも、毎年恒例の節分行事が行われました。同寺の豆まきは、ことし厄年にあたる男女を招いて、厄落としを兼ねて行っているもので、当日は家内安全や無病息災を願う参拝者らで本堂は超満員。高山住職がまず最初に「鬼はあ外、福はあ内」と豆をまき、続いて年男・年女が豆やみかん、それにお菓子などをまくと、堂内の人たちはわれ先にと「福」を拾っていました。